

住信為替ニュース

THE SUMITOMO TRUST & BANKING CO., LTD FX NEWS

第2106号

2012年03月26日（月曜日）

《 is mart changing course ? 》

先週の号の冒頭で筆者は『相場的には少し調整が入った方が良い状況になってきているのかも知れません。しかし「今の相場がもう若さを失ったのか」と言えば、そうとも言えない。よってモメンタム的にはまだこのトレンドが続いてもおかしくない、と言える。ただし少し歩調は落ちるでしょう。』と書きましたが、過去一週間はそれまで数週間続いた円安にしる株高にしる、相場の動きが少なくとも立ち止まったように見えた5日間でした。

84円台に一度行ったドル・円は82円台になり、その他通貨に対してもそれ以前の円安水準から見れば円高に動いた。株価も東京を含む世界各地で、立ち止まりか小反落（週足ベースで見ると）となった。今朝のシドニー市場の為替相場も、82円台の前半。ユーロ・円は109円台となっている。

「少し調整が入った方が良い状況」があったからこそその先週の動きであり、それはむしろ相場の息の長い展開の中では望ましい動きでした。日本の予想外の2月の貿易収支の黒字（ただし小幅なものだった）、中国とユーロ圏の景気減速に対する警戒感、アメリカの一部住宅関連などの経済指標の悪化などは、筆者の見方によれば「相場の修正を促した材料」にしか見えなかった。

しかしこうした小さな要因以上に、世界全体にとって大きな問題となりつつあるのが原油価格の高止まり傾向だと思う。去年の秋にバレル75ドル前後まで下がった世界の原油価格（WTI 先物ベース）は、その後のイラン情勢の緊迫化やアメリカでの経済活動の活発化などで最近では105ドルを上回る水準で高止まりしている。シリア情勢を含めて中東を巡る情勢は、引き続き不安定で、サウジアラビアの緊急時での供給約束にもかかわらず、世界の石油価格は高いままだ。

先週オバマ大統領の「予想外の世論調査での支持率低下」の背景には、「原油価格の上昇がある」と書いた。この種の世論調査では、その後も「共和党の醜い選挙戦にもかかわらず、オバマにとっての最大の懸念材料は原油・ガソリン高」という状況は続いている。アメリカの店頭でのガソリン価格はドライビング・シーズンの接近もあって一部でガロン4ドルに近いところまで来ているが、これは移動を主に車に依存しているアメリカの消費者の懐を痛めつける。消費主導で動き始めたアメリカ経済にとって打撃である。

また今朝の日経の記事には、「原油高、家計に波及 光熱費上昇し食品・雑貨にも」

というのがあり、書き出しは「原油など燃料や原材料高の影響が、家計の台所にじわり波及している。電気代やガソリンなどエネルギー関連だけでなく、食料品や生活雑貨の価格も上昇に転じている。家計の所得伸び悩みが続くと予想されるなか、身の回り品の値上げが個人消費の重荷になる可能性がある。」となっている。

実際にその通りで、商店を回ると、様々なものが基本的デフレ環境下で静かに値上がりしていることが分かる。

《 new risk = oil prices 》

日経の記事は具体的に数字を挙げて、値上がりする品目の増加を以下のように報じている。

「C P I を構成する 524 品目をみると、前年同月よりも値上がりした品目は全体の 38.9%、204 品目。直近で最も低かった 2010 年 5 月（21.9%、115 品目）の 2 倍近くになった。

逆に、前年同月比で値下がりした品目は 49.6%、260 品目と直近で最も高かった 10 年 5 月（66.6%、349 品目）から減少。値下がり品目が全体の 50%を下回るのは 09 年 6 月以来、2 年 7 カ月ぶり。」

こうした物価の上昇はデフレ圧力を減殺する力はあるものの、家計の実質的な購買力を低下させ、日本経済の 6 割を占める消費の力を奪う可能性が高い。原油高はアメリカや日本だけでなく、欧州をも襲う。中国やインドなどの石油輸入途上国にとっても大きな問題だ。「原油高は、世界経済全体にとってのリスク」と言える。そういう意味では、原油相場の高止まり、または現在以上の上昇は世界の株価にとっての打撃になりうるし、円相場の動向にも影響を与える可能性がある。

今週の主な予定は以下の通り。

3 月 26 日（月）	米 3 月シカゴ連銀全米活動指数 バーナンキ議長が「F R B からの視点」で講演
3 月 27 日（火）	ドラギ E C B 総裁が講演 米 1 月 S & P ・ ケースシラー住宅価格指数 米 3 月コンファランスボード消費者信頼感指数 ローゼングレン米ボストン連銀総裁が講演 フィッシャー米ダラス連銀総裁が講演
3 月 28 日（水）	米 2 月耐久財受注 ブラード米セントルイス連銀総裁が講演
3 月 29 日（木）	2 月商業販売統計 米新規失業保険申請件数

3月30日（金）

米10-12月期GDP（確定値）
ロックハート米アトランタ連銀総裁が講演
バーナンキ議長が「危機の影響」をテーマに講演
プロッサー米フィラデルフィア連銀総裁が講演
2月全国・3月都区部消費者物価
2月家計調査
2月労働力調査
韓国10-12月期GDP
ユーロ圏財務相会合
EU財務相理事会
米2月個人所得・消費
米2月PCEコア・デフレーター
米3月シカゴ購買部協会景気指数
米3月ミシガン大学消費者信頼感指数（確定値）

《 have a nice week 》

週末はいかがでしたか。高知では染井吉野が開花したそうですが、これからは開花地が日本全国に広がるのでしょうか。日本が一番綺麗になる時期です。しかし私が土曜日から日曜日にかけて行った北海道の長沼町（新千歳空港から東に車で40分ほど）は春が遠く、まだ積雪・大粒の雪が舞う天候でした。今年2回目の冬の北海道でした。「ふぶく」「しばれる」がまだ日常用語です。日本はでかい。

「SNS繋がり」というのでしょうか。古くからツイッターとフェースブックでのお付き合いのある私の北海道でのファン代表の一人である砂金（いさご）さんの誘いもあって、新千歳空港から車で40分ほどの長沼町に。着くなり昼は「ラムのジンギスカン」、夜は10人ほどで「桜鍋」と肉づくしですが、驚いたのは「昔はここは海だった」という話。彼等が言うには、太古の北海道は西側と東側に割れていたらしい。その境目当たりが今の長沼町で、「沼」が町名につくのはここが「低地」で、本当に昔は沼があったらしい。そして戦後の歴史の中でも「洪水」が多いのだそうです。

昔は「海だった」というのを実感したのは、「長沼おんせん」という地元の温泉に入ったとき。舐めると強い塩の味がする。「日本海に出るのにも、太平洋に出るのにも車で1時間」と聞きましたから、そんな場所の温泉が強い塩味を含んでいるというのは、やはり昔ここが海だったことの名残なのでしょう。こんな内陸の温泉で塩の香りがするのは、私はあまり経験がない。

それにしても、窓の外を見れば直ぐに白く1メートル近く積もった雪……。外に出れば雪の舞う露天……。今年もこんな温泉雪景色は最後だろうな」と思いながら大きな温泉に入っていました。頭に雪が積もるのを承知で、42度の露天風呂に。良い気分でした。そ

れにしても一番風呂が好きです。道後でもどこでも、風呂は常に一番を目指す。今回もそうでした。おじいちゃんが多いですよ。でも軽く朝の挨拶をして、綺麗なお風呂にザブン。

例えば道後ならおじいちゃん達の「今年の松商は.....」と言う会話を聞く。だから道後の一階が好きです。長沼おんせんは宿泊客が多いのでおじいちゃん達同士の会話はあまりなかった。しかし、軽い会釈はある。

ところで、今回は一つ私にとっての実験をしました。それは mac air をコンバーターを通じて 15 ピンの映像出力端子を使ってエプソンのプロジェクターに繋ぐ、というプレゼンのやり方です。今まで一回も試したことがなかった。しかし先日京都のビッグでそのコンバーターを見つけて買っていたので、それを試してみた。

これまで一度も試したことがなかったのは、講演などの主催者側が「(私が使うコンピューターは) windows ですかマックですか」と聞いてきて、「windows なら問題ないですが」と気にするケースが多かったからです。実際にマックコンピューターとプロジェクターの相性は悪い、と聞いていた。しかし、マックもプロジェクターとの相性を良くしているし、一部の人から「問題ない」と聞いていたので、今回セッティングの前に時間があつたので試したら、全く問題なし。デスクトップも綺麗に写ったし、動画もスムーズ、かつ綺麗。

今まで私の windows マシンが主役的に活躍していたのはプレゼンテーションの時だけですから、「今後 windows はいらなくなる」とも言える。本当にそうするかどうかは別にして。まあ一つ実験ができて良かった。

それでは皆様には良い一週間を。

《当「ニュース」は住信基礎研究所首席研究員の伊藤(E-mail ycaster@gol.com)の相場見解を記したものであり、住友信託銀行の見通しとは必ずしも一致しません。本ニュースのデータは各種の情報源から入手したものです。正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》